

◎わこう郷土かるた選定委員（順不同・敬称略）

- 副島 元子（郷土史研究家）
- 松本 泰宜（まつもとや代表）
- 阿部 周平（新倉小おやじの会会長、新倉小PTA副会長）
- 渡辺 竜幸（和光市商工会青年部 直前部長）
- 関口 泰典（公募の委員）
- 山口 はるみ（公募の委員）
- 鈴木 一郎（和光市生涯学習課副主管 兼 文化財保護担当 統括主査）
- 岸 勝己（和光市生涯学習課文化財保護担当主査）

◎わこう郷土かるた協賛者（順不同・敬称略）

<企業>

- 株式会社田中屋 天野医院 柳下生コン株式会社
- 柳下技研株式会社 有限会社渡辺モデルメーカーズ
- 株式会社新倉造園土木 秩父資材株式会社 有限会社神商
- 株式会社ネットウイズ ワコウホーム株式会社
- あんぼ法務行政書士事務所 川口信用金庫
- 株式会社塚田設計 和光バーディゴルフクラブ
- 和光バッティングセンター 株式会社山西商事
- 株式会社タケカワ建機 株式会社常進工業
- 株式会社大和薬局 御食事処 濱松屋

<個人>

- そらガクみく 田中元彦 新坂まみ 柳田麻里子 大竹綾子
- 本橋淳男 匿名希望

【読み句一覧】

- 「あ」 あいさつが ひびく和光の 通学路
- 「い」 壹鑑寺 五輪塔は 領主のお墓
- 「う」 唄いつく 清水かつらの 「靴が鳴る」
- 「え」 江戸時代 旅籠が並ぶ 川越街道
- 「お」 大坂に みどりあふれる ふれあいの森
- 「か」 元旦の 氷川八幡 だるま市
- 「き」 機関車に 思いをのせて 第四小
- 「く」 熊野様 白子囃子の 笛太鼓
- 「け」 境内の つつじが満開 白子富士
- 「こ」 越戸川 親孝行の 強清水
- 「さ」 ささら獅子 下新倉の 秋に舞う
- 「し」 車両基地 和光市から発進！ 東京メトロ
- 「す」 諏訪神社 ナスを供えて 厄除け祈願
- 「せ」 せせらぎを 聞いて遊んだ 白子川
- 「そ」 そよ風や 木漏れ日感じる 樹林公園
- 「た」 滝行 洞窟めぐりの 不動院
- 「ち」 長照寺 秋は金色 大いちょう
- 「つ」 つくる人の 顔が見える 産地直売センター
- 「て」 出初め式 消防団の いさましさ
- 「と」 東京と 埼玉の境 東埼橋
- 「な」 長屋門 一揆の残した 刀傷
- 「に」 日本初 白子の村に 養魚場



# わこう郷土かるた

## わこうっちかるた

製作・監修：わこう郷土かるた作成事業実行委員会（和光市商工会青年部）・和光市

◇「わこう郷土かるた」について

この「かるた」は、平成26年度の和光市商工会青年部事業として作られました。和光市協働事業提案制度に基づき和光市から委託を受けて行われた事業です。

和光市の歴史・文化・自然などを盛り込んだ「かるた」を作成し、かるた遊びを通じて、地域の魅力をこれからの和光を担う子どもたちに伝え、郷土愛や地域への関心を高めることを目的に作られました。

「かるた」の読み句、絵札は一般公募により集まった作品の中から、選定委員会によって選定されたものです。

読み札の裏にはその句に関する解説が付いています。この冊子の裏には読み句の場所を示した地図を掲載しています。みんなで市内を探検してみてください。新たな和光市の魅力が発見できるかもしれませんよ。

この「かるた」が、市内の子どもなら、誰でも読み句をそらんじられるくらい、和光市に根付き、永く愛用されることを願います。

平成27年1月吉日

わこう郷土かるた作成実行委員会 委員長 片山義久

- 「ぬ」 布のしわ 火熨斗で伸ばした 花ノ木遺跡
- 「ね」 熱心に 学ぶ市民の 和光市図書館
- 「の」 農家の 暮らし伝える 民家園
- 「は」 腹太鼓 鳴らして出陣 鍋合戦
- 「ひ」 百庚申 村の安泰 願ってる
- 「ふ」 筆塚で 筆に感謝 ありがとう
- 「へ」 弁天池 恵みの雨だ 龍神伝説
- 「ほ」 本田技研 世界の車を 先がけて
- 「ま」 まんまんと 田圃を満たす 七ツ釜
- 「み」 妙典寺 安産祈願の 子安池
- 「む」 向山 遺跡で発見 落とし穴
- 「め」 目の薬師 健康祈願の 東林寺
- 「も」 モズク生息 湧水流れる 和光の地
- 「や」 大和町 市になる前の 名前です
- 「ゆ」 ゆめあい和光 楽しく集い 福祉に貢献
- 「よ」 読んでみた？ 大石真の 「風信器」
- 「ら」 ランナーの 足が奏でる ロードレースフェスティバル
- 「り」 理化学の 最先端の 研究所
- 「る」 るんると 秋晴れのもと 市民まつり
- 「れ」 連綿と 人々くらす 午王山
- 「ろ」 ロングビュー 和光と仲良し 姉妹都市
- 「わ」 わこうっちは みんなのアイドル いちょうの妖精

